

岩船地域における「五百万石」の栽培ごよみ

目標の収量構成と品質	
目標収量	530kg/10a
穂数	320本/m ²
1穂粒数	75粒
m ² 当り粒数	24,000粒
登熟歩合	82%
千粒重	27.0g
検査等級	全量1等
玄米タンパク質	6.3%以下

栽培のポイント

- (1) 健苗育成 : ①育苗日数は20日程度(加温18日、無加温20日) ②播種は4月20日以降、播種量は乾籾160g/箱
- (2) 過剰生育防止 : ①1株苗数3~4本植えとし、莖質向上 ②栽植密度は60株/3.3m² ③基肥窒素量は3kg/10a程度 ④中干し・溝切りを徹底し、根の健全化と莖質向上
- (3) 後期栄養確保 : ①基肥一発肥料や緩効性肥料を活用 ②穂肥は出穂20日前と12日前とし、2回目を重点 ③出穂前後25日間は飽水管理とし、田面を乾かさず地力窒素の発現を促進 ④落水は出穂30日以降とし、後期栄養凋落を防止
- (4) 病害虫防除 : ①いもち病の箱処理剤使用 ②いもち病とカメムシ類の同時防除 ③紋枯病やイネカラバエの発生量に応じた適期防除
- (5) 胴割れ発生防止 : ①刈り遅れない適期収穫 ②刈取水分に応じて乾燥温度を調節
- (6) 土づくり : ①稲わらの秋すき込み ②土づくり肥料や堆肥等有機物の施用

基本は「適正生育量の確保」と「登熟の良い稲づくり」

